

現地調査参加しポート①

ダムを前提とした治水は危ない

川辺川
川地調

9月2日、第22回川辺川現地調査集会在人吉市で開かれ、ダムによらない治水や地域振興を考えようと110人が参加しました。山本のぶひろ県議もあいさつに立ち、ダムによらない治水や住民参加の公共事業のあり方など、川



川辺川現地調査であいさつする山本県議=9月2日、人吉市

辺川ダム建設を中止させた教訓を今後に生かそうと強調するとともに、立野ダム本体工事着工を強行した国交省の姿勢を批判しました。

集会では、五木村の和田拓也村長が、洪水防止のために山の管理の重要性を強調。また田中信孝・前人吉市長からは、「災害被災地から教訓を学び取っていくことが重要だ」との発言がありました。

集会では、想定外の異常降雨に対応できないダムの危険性を確認。ダム災害のない社会を実現していくとする集会宣言文を採択しました。

現地調査参加しポート②

不当な線引きが解決の道閉ざす

病査
水現地調

第36回水俣病現地調査が8月25、26日に開催されました。山本のぶひろ県議は鹿児島県出水市で開催された全体集會に参加しました。

今回出水市で開催されたのは、国が定めた水俣病救済の対象地域の外にも、被害の広がりがあることを示すことが大きな目的です。全体集會に



〈前列左2人目から〉山本県議、田村貴昭衆院議員=8月26日

は、全国各地から約四百人が参加しました。救済の対象地域内・外に分断された鹿児島県長島町に住む町田栄子さんは、「小さな島の中で食生活も症状も同じなのに、特措法の地域外として、検診も受けさせてもらえなかった」と、苦しみを吐露されました。

また、長島町で独自の調査を行なった高岡滋医師は、対象地域外に住む住民から水俣病特有の症状が確認されたことを報告。科学的根拠もないまま線引きをし、「対象地域外」とされた多くの水俣病患者を切り捨て、健康被害調査も行わない国の無責任ぶりが浮き彫りになりました。

「教師は超多忙」「全教室へのエアコン設置急いで」「学力テスト廃止を」

学校の先生が県に申し入れ

「子どもと教育・くらしを守る熊本県教職員懇談会」は8月21日、熊本県と県教育委員会に「子どもの貧困解消、高校生・青年の就修学・進路の保障を求める要請書」を提出しました。要請行動には現役の先生らが参加し、山本のぶひろ県議も同席しました。

教職員の数を増やして

学校の先生たちは過密労働に追われ、教材研究や子どもと向き合う時間が取れず、心身ともに追

い込まれています。小学校への英語専科教師の導入など先生の数を増やすこと、一人ひとりの子どもに目が届く少人数学級の拡充などが切実に求められます。

全教室へのエアコン設置

「校舎の三階、四階になると教室内の温度は40℃を超えることもある」など、子どもらの学ぶ場が過酷な環境下に置かれている実態がリアルに報告されました。学校教室のエアコン設置率は市

町村で大きな格差があり、県の責任は不問にできません。

学力テストの弊害あらわ

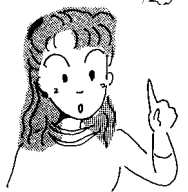
原則全生徒を対象に実施している学力テストは、平均点向上の競争に現場は追い立てられ、「生徒の理解度を掌握して指導に活かす」という本来の目的が大きく損なわれています。過去問などテスト対策に追われ、学ぶ喜びを実感できる機会を奪っている学力テストは廃止すべきです。

日本共産党 熊本県議会議会だより

2018年
9月8日号

熊本市中央区水前寺6丁目18-1
電話 096-3333-2647
ファックス 385-0255
HP 「日本共産党 山本のぶひろ」

啓発の先頭に立つべき熊本県がなぜ？



障害者雇用 水増し問題

熊本県も不適切な算入

熊本県と県教育委員会は4日、障害者雇用水増し問題についての調査結果を公表。県17人、県教委21人に及ぶ、国のガイドラインに反する障害者雇用者数の水増しが判明したと公表しました。このことにより、県も県教委も、障害者雇用の法定雇用率をとともに下回っていることが判明しました。

「やすい環境を整える」と、謝罪のコメントを発表。しかし、本来ならば雇用を促進する立場にある県、県教委の水増しはまさに障害者や家族、企業、県民への背信行為そのものであり、怒りや落胆の声が上がっているのは当然です。

なぜこうした事態が放置され続けてきたのか、原因の徹底的な解明と責任の所在を明らかにする必要があります。

9月県議会がはじまります

山本県議は県民要求かかげ奮闘します

9月定例県議会の日程が決まりました。山本のぶひろ県議は「任期期間の四年間で六回まで」という回数制約のために、一般質問はできませんが、討論や質疑など、議員に保障されている発言の機会を最大限に活

用し、県民要求をかかげて県の姿勢をただしてまいります。

民間の危険ブロック塀 県が撤去費用補助へ動く！

山本県議が6月議会で提案

9月議会に提案される今年度補正予算の中に、危険ブロック撤去を補助するための事業予算が盛り込まれることとなりました。補助対象は道路に面した3段以上（高さ80cm以上）の危険ブロック塀について、市町村助成額の4分の1（上限20万円）が補助されます。

この問題では山本伸裕県議が6月議会の建設常任委員会において、市町村への技術的・財政的支援を提案していました。

9, 10月の無料法律相談会のお知らせ

日時 ・9月21日（金） 13時30分より
・10月26日（金） 13時30分より
場所 山本のぶひろ生活相談所
（中央区渡鹿5丁目19-7）
弁護士 久保田紗和さん（熊本中央法律事務所）
事前の予約が必要です。お問合せは362-5181まで。

先生たちの苦悩

8月21日、教職員の方々が、熊本県と県教委に対し、申し入れをされました（裏面に一部を紹介）。私も同席をさせていただきましたが、学校現場がいま直面している大変な矛盾と、そんな中でも懸命に頑張っている先生方の苦悩を垣間見た思いがしました。

▼子どもたちが生き生きと、豊かな学びができる学校づくりは先生方、子どもだけでなく、すべての保護者、国民の願いです。しかし一方で、いま子どもや学校が抱えている問題は深刻で複雑化しています。先生同士で相談し合えるような時間の確保や、充実した授業を実践するための準備時間の保障、一人一人の子どもに先生方がしっかり向き合えるような環境を整えていくことは、教育行政側の重い責任です。▼二期が始まりました。少し緊張気味に登校する子どもらを玄関で迎える保護者や先生方の笑顔に救われま



る保護者や先生方の笑顔に救われま

9月県議会の日程

- 14日（金） 開会
- 20日（木）、21日（金） 代表質問
- 21日（金） 請願、意見書締め切り
- 25日（火）～27日（木） 一般質問
- 27日（木） 質疑
- 10月1日（月） 特別委員会
- 2日（火） 常任委員会
- 3日（水） 常任委員会
- 10日（水） 討論、議決、閉会